

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>ソリューションパワープラス EX</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.512</b>	△RG <b>0.040</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール**

フレアーの幅  
[ ] インチ

PAPからピンとの距離  
**5 1/4** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番

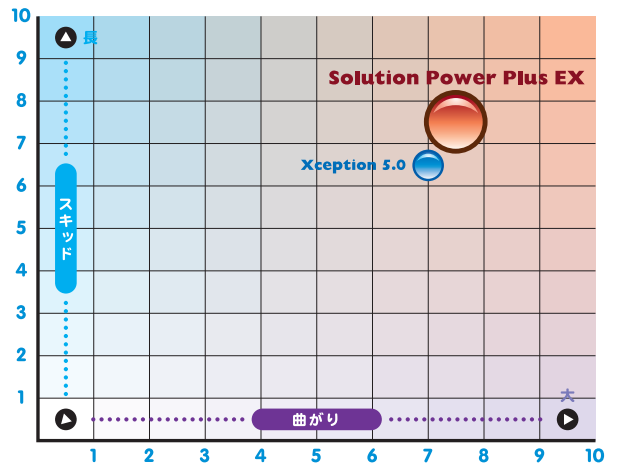
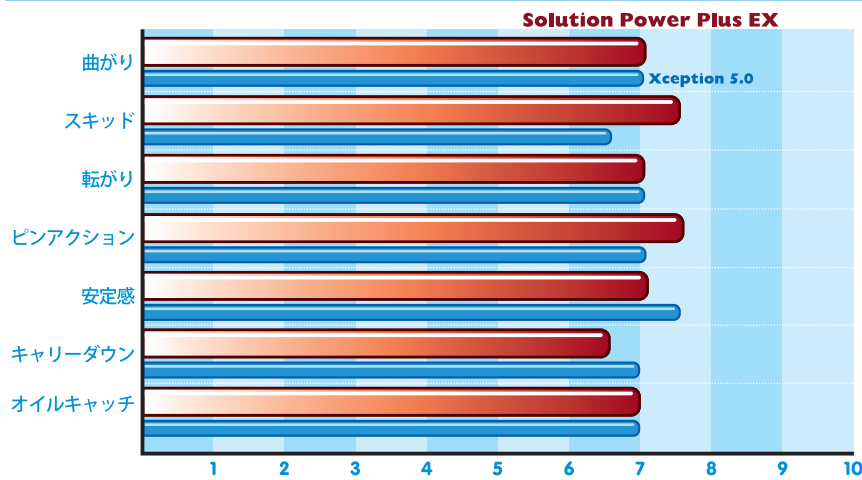
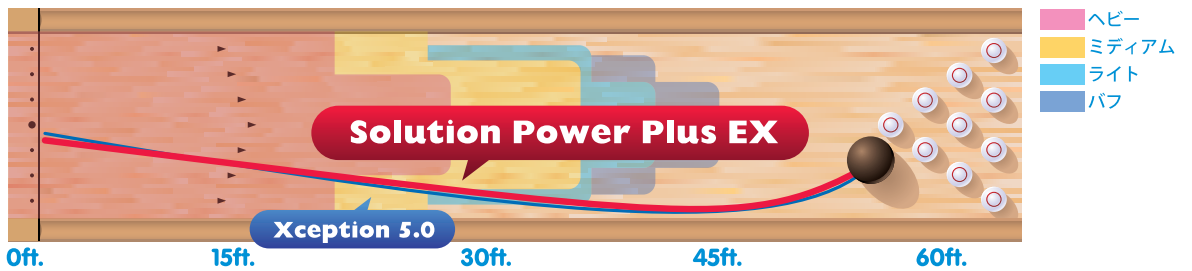
**比較対照ボール：エクセプション 5.0**

フレアーの幅  
[ ] インチ

PAPからピンとの距離  
**5 1/4** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番



### ボールの評価

EXはグリーンが基調のブラックパールとのマーブル。初代のHEXと似た感じの配色です。表面加工がポリッシュ仕上げでエクセプション5.0と比べスキッド感を感じる。同時テストのPOWER PLUSは手前からの強いキャッチ力を感じたが、EXはスキッドを伴うフリップ系の動きが特徴である。

ピンアクションも柔らかく、低く粘りのあるアクションを実現させています。

スキッドしバックエンドでのエネルギー開放設定のボールはバックエンドの状態により、キャリーダウンに反応しやすく動きに挙動を見せやすいのは否めないが、適材適所にボール選択をし、ミディアム系のコンディションで使用するならばEXは総合的にバランスが取れているボールでしょう。

視点を置き換えてみるとPOWER PLUSで手前が行かなくなったコンディションでEXを投球することができることも考えられるのは、同コア形状でカバーストックの変更のみを行うことにより曲がりのイメージを変えずにコンディションに対応することが可能だということになります。単体で考えても良いボールですが、シリーズでこの二つのボールを持つことにより、ボールチェンジに迷わなくて済むことでしょう。

オイルに負けない、キャリーダウンにも強いボールをお探しの方にはPOWER PLUS。回転力があり大きいラインを出し戻すことができる方はEX。シリーズで持つことにより、幅広いコンディションに対応できるでしょう。

### 特記事項

総合的なパフォーマンスはミディアムコンディション対応ですが、特に回転数が多いボウラーや出し戻すラインを好む方に気に入って使用していただけるボールだと思います。